

令和7年度 実習生受入事務所一覧表

所在地	事務所	受入予定人数	時期	期間	テーマ	実習内容	
新潟県	ちらみ 村上市	うらつ 羽越河川国道事務所	2	8月下旬～9月中旬	1～2週間	清流荒川、北陸で最初の石ダムと最新の横川ダム、日本海沿岸東北自動車道の管理ならびに国道7号 朝日温海道路の工事監督	・平成20年に「平成の水百選」にも選定された「清流荒川」の河川管理及びダムの管理 ・県北地域に安全安心なサービスを提供する「日本海沿岸東北自動車道」(高速道路)の道路管理実務、ならびに国道7号 朝日温海道路の工事監督
	にいがわ 新潟市	にいがわ 新潟港湾・空港整備事務所	1	7月中旬～9月下旬	2週間	新潟の物流と人流を支える「国際拠点港湾」新潟港の事業や県内地方港湾の可能性を体験	[新潟港] ・港湾におけるGXの推進に資する洋上風力発電の導入促進に係る基地港湾の現場実務等を体験 ・「地域の活性化」「賑わいの創出」に資するクルーズ船の、県内に所在する地方の港湾への寄港可能性を検討 ・実習は、新潟港東港地区の岸壁改良の現場実務の体験と、クルーズ船の寄港実績分析を体験するため、前半の1週間は東港出張所、後半の1週間は企画調整課での実習を体験
		にいがわ 新潟港湾空港技術調査事務所	1	7月下旬～9月上旬	2週間	港湾施設の設計、港湾施設の設計に用いる水理実験手法、港湾施設の観測データの解析手法	・海洋土木構造物の設計を体験 ・ドローンやマルチソーナールを利用した港湾施設等の現況確認を体験 ・新潟港湾空港技術調査事務所は、管内(新潟県、富山県、石川県、福井県)の重要な港の施設の設計を担う唯一の事務所 ・設計においては、波の推算、地盤の強度、構造物強度、入港船舶との関係による岸壁サイズの検討などの知識が習得できる ・水理模型実験においては、国内最大級の水理模型実験施設において、港湾構造物への複雑な波の伝わり方を観察し実験手法を学ぶ ・実習では、臨港道路(新潟みなとトンネル・新湊大橋)の健全性を把握するための観測データの解析手法、港湾施設の設計方法を習得する
		にいがわ 北陸地方整備局 営繕部	1～2	7月下旬～9月下旬	1～2週間	公共建築の設計等について	・官庁施設の設計の体験 ・官庁施設の建設現場の見学 ・免震構造を採用した既存庁舎の見学 ・若手職員との意見交換
		しなのがわ 信濃川下流河川事務所	1	8月下旬～9月中旬	2週間	低平地を流れる信濃川下流域の治水事業 ～設計、施工から河川管理～	・日本一の河川延長を誇る信濃川 その下流域で「洪水を安全に流す」ために行っている河川整備について、計画・設計、工事、河川管理実務を含めて体験(例:工事現場監督業務、水文観測、河川パトロール等)。 ・海岸侵食が著しい新潟海岸で、国が行っている海岸保全施設整備についても実務を含めて体験。 ・水辺の活用の取り組み(例:ミスベリングやすざぎ堤、ミスベリング三条) ・事務所在籍の若手職員との意見交換会の実施。
		あがのがわ 阿賀野川河川事務所	1	7月上旬～8月中旬	1週間	阿賀野川下流域における治水事業～河川、砂防、地すべり対策の取り組み～	日本有数の大河阿賀野川における地域の安全安心を支える河川事業、砂防事業及び国内最大級の滝坂地すべり対策事業並びに豊かな河川環境の保全・再生の取り組みについて、 ・水文観測所点検、流量観測、データとりまとめ等の調査実習 ・工事現場安全パトロール、河川巡視、地すべり点検、地すべり模型実験、情報発信体験
		にいがわ 新潟国道事務所	2	7月上旬～9月下旬	1～2週間	新潟国道の道路交通について	・全国上位の交通量の新潟バイパスの歴史と道路の調査計画 ・市街地における交通機能を確保しながらの現道工事の監督実務体験 ・重要文化財である萬代橋等の道路構造物のメンテナンス ・道路パトロール等の日常管理の実務体験 ・交通事故データや市民意見に基づく道路の交通安全対策 ・道路の維持管理を支える情報通信機器や除雪機械の紹介
	ながのがわ 長岡市	ながのがわ 長岡国道事務所	2	8月下旬～9月上旬	2週間	新潟県中越地域で求められる道路行政について	中越地域に求められる道路の整備や管理について学び、体験する。 ・中越地域の道路事業について(各行政機関と民間の役割) ・道路整備のための調査、設計体験及び工事現場見学 ・道路を管理するための道路巡回、構造物点検(インフラメンテナンス)及び災害対応(座学・体験) ・日本海側と太平洋側を結ぶ重要路線と雪について(座学・体験) 等
		しなのがわ 信濃川河川事務所	2	7月下旬～9月上旬	1～2週間	日本一の大河 信濃川中流域の治水事業 ～流域の安心・安全を守り、発展を支える取り組み～	・信濃川の洪水から越後平野を守り、また、多くの恵みを育む豊かな水を利用するために日夜守り続けている大河津分水路や大河津可動堰をはじめとした大規模河川管理施設を見て役割を学ぶ。 ・大河津分水路河口部で実施中の「令和の大改修」の計画・工事現場を体験するとともに、広報活動への参加。 ・令和元年東日本台風の影響を受けて立ち上げた「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の計画・推進のための現地調査等を体験。 ・河岸段丘から扇状地、氾濫原へと地形の変化に富んだ信濃川を河川パトロールを行う事により体験。 ・地域を守るため、現在行われている河川改修工事の施工管理を体験 (積算業務体験も実施予定)
		まろこやまのりょう 国営越後丘陵公園事務所	1	7月下旬～8月下旬	1～2週間	国営越後丘陵公園の利用状況調査と利用促進計画の企画検討	日本海側唯一の国営越後丘陵公園の利用促進に向けた調査及び計画の実務
	じよあつ 上越市	あかのがわ 高田河川国道事務所	3	7月下旬～9月下旬	1～2週間以内	上越地域の特性を活かした街づくりと防災強化	・能登半島地震による津波の被災を受けた関川における災害復旧や河道掘削の工事現場におけるICT施工の取組、排水機場等の河川管理施設の見学、姫川における急流河川対策工事や水文観測におけるDXの取組の見学等。 ・日本海特有の厳しい気候に対応した(越波や塩害)国道の整備・維持の方法や、生活基盤の幹線軸となる道路計画の実務等。 ・若手職員との意見交換会の実施。
	みなみうらね 南魚沼市	きぐりがわ 三国川ダム管理所	1	7月下旬～9月上旬	1週間	地域に開かれたダムとして地域の人たちや観光客に親しまれるダム管理	・地域に開かれたダムとして、「ダム地下通路」等の施設見学について学ぶ。 ・雨量、貯水位、流入量、放流量等のダム諸量データの収集整理、ダム変異観測及び貯水池などのダム管理を体験する。 ・その他、ダムにおける防災対応や環境への取り組みなども学ぶ。
とやま 富山県	とやま 富山市	ふしとやま 伏木富山港湾事務所	1	7月～8月	2週間	伏木富山港の役割と港湾整備による地域への波及効果を実地で学ぶ	・本州日本海側では2港のみの「国際拠点港湾」(国際海上貨物輸送網の拠点として港湾法に定義)の一つである伏木富山港は、伏木・新湊・富山の3地区から形成され、日々の生活や産業に欠かせないエネルギーの確保や地域経済活動の拠点としての機能を果たしている。 ・本実習では3地区を港湾業務艇により港湾利用状況を見学し、各地区の物流特性や役割を学習。 ・物流特性の学習では、コンテナ輸出入調査データを活用し最新の伏木富山港のコンテナ取扱量のトレンド等について分析を行う。
	くろべ 黒部市	くろべ 黒部河川事務所	2	7月下旬～9月上旬	1週間	水系一環事業の調査・計画・管理・施工	・日本でも屈指の急流河川である黒部川の河川事業全般に関する実務 ・豊かな自然環境と調和した黒部川上流域の砂防事業全般に関する実務 ・全国でも侵食の激しい海岸として有名な下新川海岸の海岸事業全般に関する実務 ・直轄ダムでは初めての土砂を排出する排砂設備を有する宇奈月ダムでの点検作業等の実務
	よかみ 砺波市	よかみ 利賀ダム工事事務所	2	7月下旬～9月下旬	1～2週間	人々の暮らしと産業に恩恵をもたらす、地域の歴史、文化を育んできた庄川との関わりを再認識 ー 新たな治水の歴史を刻む利賀ダム建設事業の役割 ー	・地域と共に庄川流域の安全・安心を築く利賀ダム建設事業を学ぶ ・ダム本体工事、ダム工用道路(トンネル等)の工事監督などをインフラ分野のDX(CIM)で体験。
いしかわ 石川県	かなざわ 金沢市	かなざわ 金沢河川国道事務所	1	7月中旬～9月中旬	2週間	石川県の治水事業 ～治水事業(河川、砂防、ダム、海岸)を金沢河川国道事務所であること体験～	・梯川で実施している引堤などの工事監督を体験 ・全国有数の急流河川である手取川での工事監督及び河川パトロールを体験 ・高山地域における全国有数の大規模地すべり対策の現地調査及び工事監督を体験 ・国内最大級のロックフィルダムである手取川ダムの流水管理及び巡視/点検・計測などの維持管理を体験 ・海岸侵食を防止するための海岸事業について工事監督を体験
		かなざわ 金沢港湾・空港整備事務所	1～2	7月中旬～9月中旬	2週間	石川県内における直轄道路事業 ～調査・計画、工事、維持管理についてパッケージで体験～	・金沢河川国道事務所管内における直轄インフラ整備に関する調査・計画、維持管理等の業務運営実習 ・能登自動車道の現場見学 ・能登、金沢、加賀国道維持出張所管内の道路維持管理業務(パトロール等)
		かなざわ 金沢港湾・空港整備事務所	1～2	7月上旬～9月下旬	1～2週間	地域経済を支え、賑わいを創出する金沢港等の港湾整備事業を体験	・金沢港で進めている災害復旧工事、防波堤工事及び浚渫工事等の現場実務(工事監督)を体験。 ・能登地域の港湾の災害復旧工事学ぶ。 ・港湾工事におけるICT技術の活用について学習。 ・港湾業務艇による海上施設の点検及びUAVを用いた操縦訓練を体験。 ・地域経済を支える港湾の役割やみなとを中心とした賑わい創出の取組を学習。
ふくしま 福島県	あいつわかまつ 会津若松市	あがのがわ 阿賀川河川事務所	2	7月下旬～9月上旬	2週間程度	会津地域を潤す阿賀川流域の治水事業 ～阿賀川・大川ダムの工事、管理～	・阿賀川下流部河道掘削事業をはじめとする改修工事を通して、工事監督を体験。 ・河川巡視及び河川法許可の実務体験。 ・大川ダムの施設点検を通して、大規模施設の役割、日々の施設管理の重要性を学ぶ。
ながの 長野県	ながの 長野市	ちくまがわ 千曲川河川事務所	1	8月下旬～9月上旬	1週間	【治水ONE NAGANO】流域一体で取り組む信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組み	・令和元年東日本台風の影響を受けて立ち上げた「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の計画・推進のための現地調査等を体験。 ・併せて、地域と連携した河川改修、ダム、かわまちづくりなど多岐にわたる事業についても紹介。 ・塩崎遊水池起工式に係る運営・イベントへの参加。 ・北陸最大規模の事業に係る用地取得実務の紹介。 ・北陸地方整備局管内で最長の管理区間を有する千曲川・犀川の河川パトロール実務の体験。 ・千曲川河川事務所で保管する災害対策用車両の紹介と体験。
ふくい 福井県	つるが 敦賀市	つるが 敦賀港湾事務所	1	7月下旬～8月上旬	1週間	地域の経済・物流を支える敦賀港の港湾整備事業を学ぶ	・福井県敦賀市に所在する敦賀港は、福井県内はもとより背後圏である関西圏・中京圏と北海道・九州を結ぶ定期航路を有し、地域や背後圏の経済を支える重要な役割を担っている。 ・日常生活では見聞きする機会が少ない海洋土木構造物の施工の最前線を体験する。現在、敦賀港で整備を進めている岸壁本体事業の現場実務体験するとともに、敦賀港が担う役割等について学習する。

※実習内容は募集開始時の予定であり、変更となる場合がある。